

2016年7月

最先端のテクノロジーや、ロボティクスが約 100 体集結！
「ロボットと暮らす、すぐそこにあるミライの生活」が体感できる、夏休みイベント！

新宿高島屋開店 20 周年記念

すぐそこ、ミライ 暮らしとロボット展

2016年8月3日(水)～8月14日(日)

新宿高島屋 11階 特設会場

■入場料(税込):一般 500 円、大学・高校生 300 円、中学生以下無料

■ご入場時間:午前 10 時～午後 7 時 30 分(8 時閉場)

※8月5日(金)・6日(土)・12(金)・13(土)は午後 8 時まで(8 時 30 分閉場)、最終日 14 日(日)は午後 5 時 30 分まで(6 時閉場)

■部分監修協力:日本科学未来館



【最新技術の集結とエンターテインメントの要素が満載！】

アニメや映画の世界で描かれた「未来のロボットと共生する生活」は空想の世界にとどまらず、最先端技術の研究や進化により、暮らしやビジネスなど幅広い分野で近い将来実現する期待が高まっています。そうした中、新宿高島屋では本年の夏休みイベントとして、約 30 企業・団体にご協力をいただき、将来ロボットと暮らしたり“ミライが体感できる”イベントとして「暮らしとロボット」展を初めて開催いたします。

会場では最先端のテクノロジーやロボティクスの体感はもちろん、夏休みの自由研究に役立つロボット工作教室やトークショーなども行い、屋外広場では大型の“搭乗型ロボット”に乗ることができる体験イベントも実施いたします。また、おはなしロボットの「オハナス」をはじめ、会場内でご紹介したロボット関連商品を約 30 種類販売するとともに、現在“もっとも人間らしさを感じるロボット”として話題のコミュニケーションロボット「テレノイド」を実際に操作、体感できる体験会を本展で行います。



【会場内でご紹介する最先端のテクノロジー、ロボティクスの一例】

光学迷彩マント

■ 透けて見えるマント？！

透明人間を工学的に実現した「光学迷彩」技術。
マント部分が「透けて」見えます。実は背景をあらかじめ撮影した映像が投影されていて、マント(=再帰性反射材※)がその映像を明るく反射するため目に見える仕組みをご紹介します。

(※)再帰性反射材とは・・・どんな角度で当たった光も、もと来た方向へ戻す素材。

自動車のライトで光る交通安全シールなどに使われています。



開発者: 稲見昌彦(いなみ・まさひこ)

東京大学 教授。1972年、東京都生まれ。

1999年、東京大学大学院工学研究科先端学際工学専攻博士課程修了(工学博士)。自在化技術、Augmented Human、エンタテインメント工学に興味を持つ。現在までに光学迷彩、触覚拡張装置、動体視力増強装置など、人の感覚・知覚に関わるデバイスを各種開発。

将棋代指しロボット「新電王手さん」

■ あの電王戦で勝負をした、将棋ロボットが登場！ 将棋×AI×ロボット

日本トップレベルのプロ棋士と数々の名勝負を繰り広げた、
コンピューター将棋ソフトの代指しロボット

「新電王手さん」を見ることができる貴重な機会！

会場では、「新電王手さん」による棋譜並べをご覧いただけます。
2014年度のグッドデザイン大賞を受賞した医療・医薬用ロボット「VS-050S2」をベースに、世界初の技術となる成駒(駒を裏返すこと)機能を備えた、将棋対局専用ロボットアームです。



メカフ

■ 「メカを着る」ことが未来のトレンド?! 未来のロボットファッション「メカフ」

様々な服装にコーディネートすることを楽しむロボットとして制作。

プログラミングで動く“機能のないファッション”としてのウェアブルデバイスで、無骨な2本のアームロボットが人間の肩から生えているように見えるのが特徴の“着るロボット”をご紹介します。

■ 会場では、「メカフ」を着用してミライのロボットファッションで撮影をすることができます

※身長制限など、着用可能な条件がございます

※実施予定日:

8月3日(水)のみ 本物の「メカフ」体験 (予定) ※変更になる場合あり、詳しくは会場にお問合せください

8月4日(木)以降は「メカフ」の模型による体験 (予定) ※変更になる場合あり、詳しくは会場にお問合せください



写真左) model: 星守紗風 costume: chloma



写真右) model: 近衛りこ photo: 萩原楽太郎



開発者: きゅんくん

ロボティクスファッションクリエイター/メカエンジニア。

機械工学を学びながら「メカを着ることを目標に、ファッションとして着用するロボットを制作している。ISID イノラボ ロボティニティテクノロジスト。

小説を書く人工知能

■ 人工知能による小説の創作！

小説全体の構造を決め、小説に登場する属性をデータ化し設定する作業は人間が行い、人工知能はその結果をもとに小説となる日本語の文章を生成します。

プロ並みの小説を創作する、難易度は非常に高いと言われている人工知能です。

会場には、『作家ですよ』が“小説を書いた”成果作品の展示もいたします。

■ きまぐれ人工知能プロジェクト『作家ですよ』について

SF作家 星新一のショートショート全編を分析し、エッセイなどに書かれたアイデア発想法を参考にして、人工知能におもしろいショートショートを創作させることを目指すプロジェクトです。

公立はこだて未来大学の松原仁教授を中心にしたプロジェクトチームが、2012年9月にスタートし、2015年には第3回 星新一賞に応募しました。2017年頃の「新作発表」を目標としています。

(きまぐれ人工知能プロジェクト『作家ですよ』公式ホームページより抜粋)

■ 成果作品について

第3回 星新一賞 応募作品 「コンピュータが小説を書く日」 2015年9月24日

(きまぐれ人工知能プロジェクト『作家ですよ』公式ホームページより転載)

第三回星新一賞応募作品

コンピュータが小説を書く日

有嶺雷太

その日は、雲が低く垂れ込めた、どんよりとした日だった。

部屋の中は、いつものように最適な温度と湿度。洋子さんは、だらしない格好でカウチに座り、くだらないゲームで時間を潰している。でも、私には話しかけてこない。

ヒマだ。ヒマでヒマでしょうがない。

この部屋に来た当初は、洋子さんは何かにつけ私に話しかけてきた。

「今日の晩御飯、何がいいと思う？」

「今シーズンのはやりの服は？」

「今度の女子会、何を着ていったらいい？」

私は、能力を目一杯使って、彼女の気に入りそうな答えをひねり出した。スタイルがいいとはいえない彼女への服装指南は、とてもチャレンジングな課題で、充実感があつた。しかし、3か月もしないうちに、彼女は私に飽きた。今の私は、単なるホームコンピュータ。こ

～「未来の暮らしショールーム」、他エリア～

IoTを活用したミライの暮らしを体感できるゾーンでは、家電がロボットとなり、暮らしの中で活躍する様子をショールームのような感覚でご覧いただけます。

未来では、テレビの出演者もロボットかも…？！

NTT 研究所の AI 技術 corevo(TM)を使ったロボット同士による「ロボット大喜利」がお楽しみいただけます。



現在、もっとも“人間らしさを感じるロボット”として話題の、コミュニケーションロボット「テレノイド」。

一般のお客様が「テレノイド」を実際に操作・体感できる体験会を行います。また、本展ご来場のお客様に限り、テレノイド(ベータ版)が、メーカーの(株)テレノイド計画のホームページにてご購入いただけます。一般のお客様向けの販売は、本展が初めてです。

テレノイド(ベータ版)

本展限定価格 1,080,000 円(税込み) 1 体限り

～「会場入口」エリア～

ヒューマノイドが受付嬢としてご案内！

「暮らしとロボット」展のインフォメーション係として

“高島屋の教育を受けた”ヒューマノイド(※)の「アクトロイド」が、高島屋のインフォメーション係の制服を着て、お辞儀の角度や動きを忠実に再現し入口でお客様のお出迎えをいたします。

(※)ヒューマノイドとは…人間の容姿をしているロボットのこと



会場入口では、ご案内ロボット「チリン」が登場！ ロボットによる受付案内の実証実験も実施！



本展では、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(都産技研)(※)と共同で、

ロボットによる受付案内の実証実験を、商業施設で初めて行います。

展示会場内のことについて尋ねると、都産技研のマスコットキャラクターである「チリン」が、音声対応だけではなく、横に設置したモニターに付随映像も表示し会場内のご案内をいたします。挨拶など簡単な会話もでき、日本語だけでなく英語・中国語にも対応します。

(※)地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとは…東京都内の中小企業に技術支援を行うための公設試験研究機関。

～会場内でご紹介した、ロボット関連商品の販売～ (約 30 種類)

【販売商品の一例】



自由な会話を楽しめる「自然対話プラットフォーム」を活用したクラウド型おはなしロボットの「オハナス」。
NTTドコモと、タカラトミーが共同開発したロボット。
俳句やしりとりなど言葉遊びやスマートフォンとつながることで天気やグルメ情報をおしゃべりしてくれます。
「オハナス」 価格:21,384 円(税込み)

※「オハナス」は、会場外の新宿高島屋の店内にも設置され、ロボットとの対話を楽しめます。

離れて暮らす家族と連絡が取れる、クマのぬいぐるみ型の通信機能を搭載したコミュニケーションロボット。「ここくま」に話しかけるだけで、離れて暮らす家族のスマートフォン等に音声メッセージを送ることができます。スマートフォンから「ここくま」にメッセージを送ることも可能で、それが再生されたか確認ができるので、見守りにも役立ちます。さらに、「ここくま」には人感センサーを搭載しており、人が近づくと天気や季節の話題などを話しかけてくれます。
「コミュニケーションパートナー ここくま」 価格:37,584 円(税込み)
※受注販売 9 月以降お渡し予定



～搭乗型の大型ロボット「イケドム」に乗ろう！～ 屋外会場にて ※体験無料



産学官連携(※)で製作された、搭乗型ロボット「イケドム」に乗ることができる体験イベントを実施します。

手を動かすなど多彩なアクションが可能です。

(※)産学官・・・株式会社池戸溶接製作所 × 愛知工業大学 × 愛知県瀬戸市

実施日:8 月 3 日(水)、4 日(木)、5 日(金)、6 日(土)

※未就学児は保護者同乗

※各日 12 時～、14 時～

※先着順(整理券を配布します)

【お問合せ】

新宿高島屋 TEL (03) 5361-1111 (代表)